

景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(令和5年11月)

～訪日客効果や気温要因の影響で、現状判断は3か月ぶり上昇～

- 景気ウォッチャー調査・11月調査の近畿地域の結果は、現状判断が49.6と前月比で3か月ぶりの上昇(+1.3ポイント)となった。ただ、好不調の目安となる50は2か月連続で下回っている。また、先行き判断も47.5と4か月ぶりの上昇(+0.6ポイント)となった。
- 足元の景気については、インバウンドの増加が続く中、関連業種では需要の増加が続いている。特に、百貨店や都市型ホテル、コンビニなどを中心に、売上の増加がみられる。また、今月は在阪球団の優勝セールによる効果に加え、気温の低下が進んだこともあり、季節商材の販売増加につながった。
- ただし、物価の上昇が続く中、幅広い業種に悪影響を及ぼす傾向に変化はない。スーパーや家電量販店といった小売関連を中心に、消費マインドの低下や節約志向の強化が続いているほか、製造業などの企業関連でも、価格転嫁の遅れによる経営環境の悪化が広がっている。140円台の円安傾向が続いたことも、物価の上昇を助長する結果となった。
- 先行きについては、引き続きインバウンドの増加が見込まれ、百貨店やホテル、コンビニなどを中心に、売上の増加等を期待する声が多い。主に、中国人団体客の増加を予想する声が多いほか、円安環境が続いていることもあり、インバウンド市場全体の先行きには楽観的な声が少なくない。
- また、今冬は新型コロナの5類感染症への移行後、初めてのクリスマス・年末商戦を迎えるため、関連業種では大きな期待の声が上がっている。百貨店や飲食店に加え、スーパー等でも売上の増加が期待されている。
- その一方、物価やコストの上昇に対する警戒感は引き続き強い。消費者の節約志向が強まる中、価格転嫁が徐々に困難となっており、スーパーや家電等を中心とした小売関連のほか、製造業などの企業関連でも厳しい声が聞かれる。加えて、中東をはじめとする世界情勢の不安定化で、原油相場の上昇を含む、コストの上昇への不安感は引き続き強い。

「気温要因」関連のコメント(現状判断)

家計動向関連	良くなっている	百貨店(服飾品担当)	・11月に入り、気温の低下で防寒商材が徐々に動き始めたが、例年よりもかなり暖かい日が多く、販売の増加にはつながっていない。ただし、前月に続き、雑貨や宝飾品の売上が好調に推移し、大幅に前年を上回る形となっている。特に、海外客の増加に伴い、都心店舗の来客数は前年比で120%以上の日が続いている。円安の影響で高額品の売行きが順調に伸びたほか、国内消費も来客数の増加により、食品関連が前年を上回る結果となっている。
	やや良くなっている	一般小売店[時計] (経営者)	・前月に続き、今月の初旬は来客数の出足が良かったが、中旬以降は急激な気温の変化により、徐々に出足が鈍くなった。インフルエンザの流行に加え、新型コロナウイルス感染症もまだ油断できないという情報の影響か、外出を控える動きが少しみられる。今月の初旬と月末で、来客数が大きく変わっている。
		一般小売店[菓子] (営業担当)	・気候が良くなって、人の動きが活発になり、商品の動きも良い状況である。
		百貨店(管理担当)	・今月後半から冷え込みが厳しくなり、冬物商材が少しずつ動き出している。

家計動向関連	変わらない	百貨店（売場主任）	・今月は売上目標を達成する見込みである。前半は気温の影響もあり、冬物商材の販売に苦戦したものの、中旬からは回復している。客は少し価格が高くても、価値のある商品は購入する傾向が強い反面、価格が安くても魅力のない品は購入を控えている。その傾向は、より一層強くなっている。
		百貨店（企画担当）	・11月前半は気温が高かった影響もあり、インバウンドを除いた国内売上は厳しい状態が続いた。インバウンドについても、月中旬までは動きが少し低調であった。その後、月後半になって気温が低下し、国内売上は復調傾向となったほか、インバウンドも紅葉シーズンの本格化などで、関連売上が回復している。
		百貨店（サービス担当）	・今月は在阪球団の優勝セールも一段落し、その反動で来客数が少し減少したため、売上も落ち着いた状況にある。一方、急激な気温の変化により、冬物衣料やマフラー、手袋といった洋品雑貨が好調に推移している。
		百貨店（販促担当）	・今月も来客数が堅調で、日用品や食品を中心に前年を上回る推移となっている。ただし、大きな動きの変化はなく、ファッション関連は気温要因で月前半は苦戦し、後半は好調となった。インバウンドはそれほど増えておらず、以前からも元々多くないため、街全体としての魅力づくりが必要となっている。
		百貨店（営業推進担当）	・暖冬の影響で重衣料の動きが鈍く、月前半はニットやコート等の売上が前年比で40%減であったが、後半に盛り返したため、前年比では増加傾向が続く見込みである。
		百貨店（マネージャー）	・コロナ禍の収束以降、外商客やインバウンドの増加が売上をけん引している。また、最近の気温低下で冬物商材の売行きが堅調であり、売上の増加が続いている。ただし、富裕層を除いた国内客が増えているとはいえ、客との会話からも、相次ぐ値上げのほか、税負担や社会保障負担の増加に対する懸念から、消費に積極的になり切れない雰囲気がある。
		スーパー（店長）	・11月は在阪球団の優勝セールや、気温の低下による追い風があり、売上は大きく伸びた。ただし、売れている商品はセール対象の商品が中心で、商品単価や客単価は低下している。客の買い方をみると、価格優先の傾向が目立ち、定価販売の商品は苦戦している。
		スーパー（経理担当）	・ブラックフライデーは年末商戦の前哨戦として定着してきたが、大きな盛り上げには至らず、年末に向けてやや不安が残る。冬物商材も高めの気温の影響で苦戦していたが、ようやく動き始めた。物価の上昇が続くなか、年末年始商戦が盛り上がるかどうか、今後の鍵となる。
		家電量販店（企画担当）	・暖冬の影響で暖房器具の動きが鈍く、例年は秋商戦に動く調理家電の売上も、軒並み前年を下回っている。
		その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	・気温の変化に伴い、感冒薬などの医薬品の売上は順調に伸びているが、マスク等の衛生、介護用品は減少傾向が続いている。その一方で、食品等の生活必需品は堅調に推移している。月全体では、来客数、買上点数は3か月前と比べて微減であり、客単価や商品単価は微増となっている。
		高級レストラン（スタッフ）	・暑くなったり寒くなったりと、気候が安定しないほか、インフルエンザの早期流行による影響で、客足が伸び悩んでいる。
		タクシー運転手	・朝晩は寒くなってきた影響もあり、タクシーの利用が増えている。
		やや悪くなっている	一般小売店〔衣服〕（経営者）
百貨店（売場マネージャー）	・来客数は3か月前までは増加が続いていたが、10月以降は鈍化傾向にある。特に、9月から11月前半は残暑等で高めの気温となったため、衣料品を中心とした秋冬商材の動きが悪く、来客数も減少傾向であった。加えて、食品や衣料品などの価格上昇もあり、消費も厳しい状況となった。一方、インバウンドは円安傾向もあり、地方都市でも好調な動きとなっている。		
コンビニ（店員）	・気温の低い日が多くなり、温かい物は売れ始めているが、まだ冷たい商品ほどは売れていない。		
家電量販店（経営者）	・暖冬の影響か、全体的に販売量が少ない。		

「在阪球団の優勝セール」関連のコメント(現状判断)

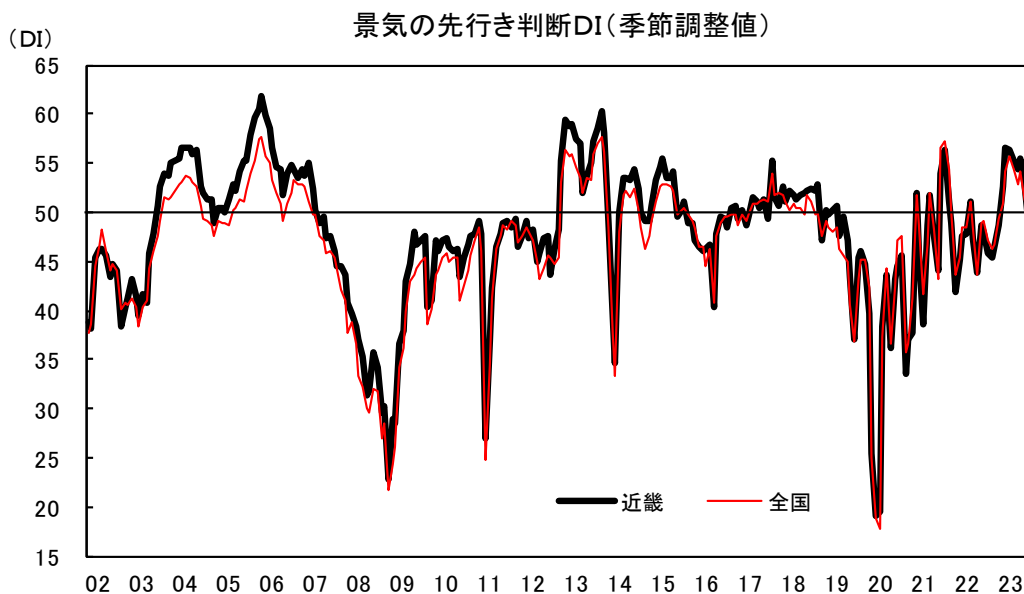
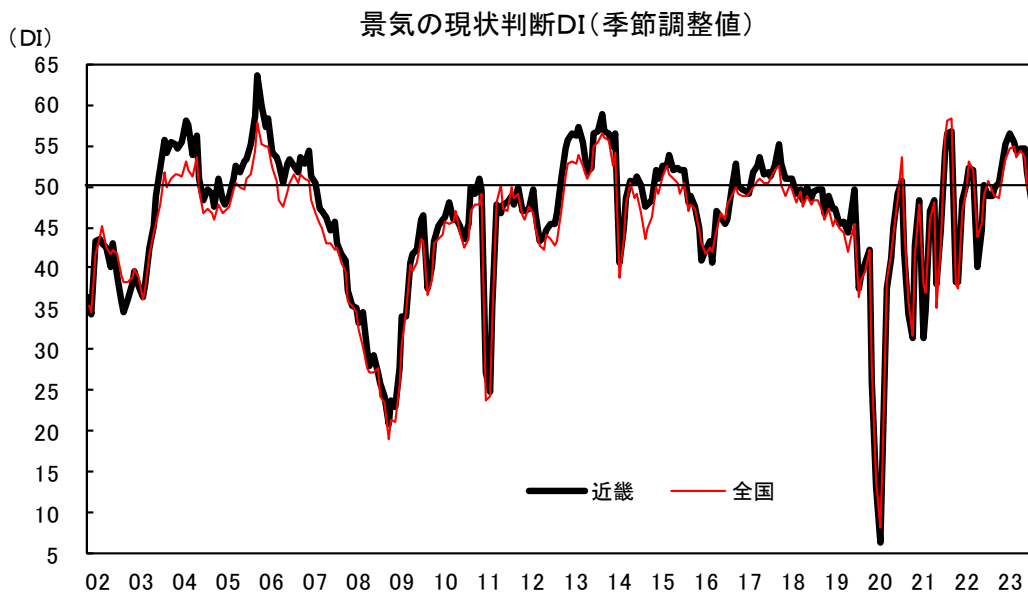
家計動向関連	なやや良くなっている	スーパー（店長）	・衣料品の販売点数の前年比は105%と、久しぶりに前年の実績を上回った。ただし、在阪球団の優勝記念セールの恩恵が大きく、数字だけを見るとやや上向きではあるが、クリアランスセールの影響を除くと、余り変わらない。
		百貨店（サービス担当）	・今月は在阪球団の優勝セールも一段落し、その反動で来客数が少し減少したため、売上も落ち着いた状況にある。一方、急激な気温の変化により、冬物衣料やマフラー、手袋といった洋品雑貨が好調に推移している。
	変わらない	スーパー（店長）	・11月は在阪球団の優勝セールや、気温の低下による追い風があり、売上は大きく伸びた。ただし、売れている商品はセール対象の商品が中心で、商品単価や客単価は低下している。客の買い方をみると、価格優先の傾向が目立ち、定価販売の商品は苦戦している。
		家電量販店（店員）	・近隣に競合店が増えたほか、在阪球団の優勝セールで客足が他業種に流れ、来客数の減少が進んでいる。また、買い控えの動きも目立つ。

企業	変わらない	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・在阪球団の優勝セールもあり、洗濯機や冷蔵庫、エアコンといった大型商材で、前年を上回る荷動きを示している。
雇用	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・関西では在阪球団等の優勝による盛り上がりや、インバウンドの増加といった好材料はあるが、物価の上昇で消費意欲が低下している。それに伴い、関西の地元企業からの新聞広告や、デジタル広告への出稿状況には変化がみられない。

「クリスマス・年末年始商戦」関連のコメント（先行き判断）

家計動向関連	良くなる	百貨店（服飾品担当）	・中国からの客が増えると予想され、特に年末年始での来店が大きく伸びそうである。また、ボーナス支給の増加でボーナス商戦も好調な推移となるため、売上の増加が続く。一方、特定のラグジュアリーブランドは外国人の購入が半分以上を占める状況であり、今後も円安の影響が続くとみられる。国内客も海外旅行ではなく、国内での消費を増やすと予想されるなか、中型サイズのスーツケースが国内客に売れ、大型サイズが外国人に売れる現象が発生している。
	やや良くなる	百貨店（サービス担当）	・年末年始にかけて、インバウンドの増加による売上の拡大が期待できるほか、コロナ禍で中止していた食品イベントや催事も開催されるため、今の好調な状況に大きな変化はない。
		コンビニ（経営者）	・お歳暮の配達や、忘年会も始まるため、年末の売上に期待したい。
		一般レストラン（店員）	・前年度と比べて年末年始に向けた問合せが多く、予約も入ってきている。
		タクシー運転手	・例年どおり、年末年始は人の動きが活発になる。時期的に景気の満潮時に当たるため、状況は良くなる。
	変わらない	百貨店（売場マネージャー）	・経済環境は、年末にかけても改善するとは思えない。特に、円安の進行や物価の上昇により、日常的な消費は厳しくなる。また、今年は前年と比べて、地方都市から都心への客の流出傾向がみられるため、年末商戦も厳しいと予想される。
		百貨店（営業推進担当）	・コロナ禍の収束で、年末年始やバレンタイン商戦といったカレンダー商戦が正常化するため、前年からの増加傾向の継続が予想される。
		百貨店（売場マネージャー）	・クリスマス商戦や初売りなどを迎えるが、今月よりも良くなる材料は見当たらない。どちらかといえば、物価の上昇といった外的リスクも多いなか、景気が上向かないケースも意識しておくべきである。
		スーパー（経理担当）	・クリスマスから年末年始という消費のビッグイベントの動向に加え、ボーナス支給や賃上げなどの状況により、消費マインドは大きく変化する。これらがプラス材料となれば、来年の消費は明るい見通しとなるが、現段階では不透明感が強い。
		衣料品専門店（店長）	・ここ数か月は好調が続いているが、来客数が減少しつつある。年末から年明けにかけて、何か仕掛けが必要と感じている。
家電量販店（店員）		・年末から年始にかけてクリアランスセールは続くが、客離れによる落ち込みを取り戻すには、少し時間が掛かる。	
乗用車販売店（経営者）		・年末のボーナス支給額次第であるが、今のところ客から前向きな言葉は聞かれない。	
その他小売〔ショッピングセンター〕（総括）		・大阪・関西万博の盛り上がりもなく、クリスマスなどのオケージョン需要も弱含みである。	
企業動向関連	なる	化学工業（企画担当）	・コロナ禍による落ち込みを脱し、人流の回復が続いているほか、年末年始の食品需要期に入るため、先行きは良くなる。
	やなる	通信業（管理担当）	・景気は低調であるが、年末商戦が始まるほか、野菜価格が低下するとの予想に立てば、景気は若干良くなる。
	変わらない	司法書士	・年末年始には消費が少し伸びるが、海外での紛争などの先行きは不透明である。物価の上昇も続くなか、余り良くない状況が2～3か月後も続く。
	やなる	輸送用機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの5類感染症への移行後、初めての年末年始を迎える。旅行やレジャーへの出費が増えるため、耐久消費財の購入はその後になると予想される。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・物価の上昇による影響は確実に始まっている。年末のイベント消費は盛り上がるものの、その反動で財布のひもは固くなる。

(DIの推移)



(近畿地域のDI)

		21年					22年					23年														
		11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
現 状 判 断	近畿	56.5	56.8	38.3	38.2	48.2	50.5	52.2	51.9	40.0	44.7	50.1	48.8	48.7	49.8	50.4	53.6	55.2	56.4	55.5	54.5	54.6	54.7	51.8	48.3	49.6
	(全国)	58.0	58.3	37.9	37.4	47.1	49.5	53.0	52.1	43.9	45.5	48.9	50.8	49.4	48.7	48.5	52.0	53.3	54.6	55.0	53.6	54.4	53.6	49.9	49.5	49.5
先 行 き 判 断	近畿	51.1	48.9	41.9	45.2	47.5	47.8	51.2	47.4	43.9	48.6	48.0	45.9	45.4	46.6	48.6	52.7	56.5	56.4	55.2	54.3	55.4	52.9	48.4	46.9	47.5
	(全国)	54.3	50.1	43.7	45.3	48.4	48.4	51.1	48.4	43.7	49.0	49.2	47.1	46.3	46.8	49.3	50.8	54.1	55.7	54.4	52.8	54.1	51.4	49.5	48.4	49.4

※季節調整値